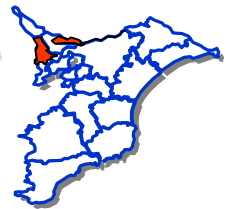


松戸保健所感染症情報



2013年 7月

(2013年7月11日配信)

…腸管出血性大腸菌感染症に注意… 腸管出血性大腸菌感染症 Q&A ⇒厚生労働省 HPへ

2013年における千葉県への報告数は37例で、そのうち7例が松戸保健所管内からの報告となっています。第26週だけでも、松戸3例、印旛3例、船橋市1例、海匝1例と合計8例の報告がありました。

この病気の原因となる「腸管出血性大腸菌」は、動物の腸管内など自然界に広く存在しています。菌に汚染された手指や食品から感染し、人から人へうつる可能性のある病気です。

夏は、食中毒が増える時期でもあります。一人ひとりが対策をとって、感染を予防しましょう。

＜感染を防ぐために、今すぐできること＞

- とにかく手洗い！！** 調理や食事の前には必ず手を洗いましょう。動物を触った後の手洗いも大切です。アルコール消毒も有効です。
- お肉はよく火をとす！！** 焼肉やバーベキューなどの時には、肉の中の色が完全に変わるくらい十分に加熱してから食べましょう。また、専用の箸やトングを用意し、「焼く用」「食べる用」を区別しましょう。
- 調理器具は清潔に！！** 洗淨・消毒を徹底しましょう。包丁・まな板は「野菜用」「肉用」に分けるとより安全です。

管内発生急増
要注意!!



＜管内感染症発生状況＞

◇感染性発生状況(6月分)…全数報告届出分

- 2類感染症 / 結核 6件
- 3類感染症 / **腸管出血性大腸菌感染症 3件**
- 4類感染症 / レジオネラ症 2件
- 5類感染症 / 後天性免疫不全症候群 1件

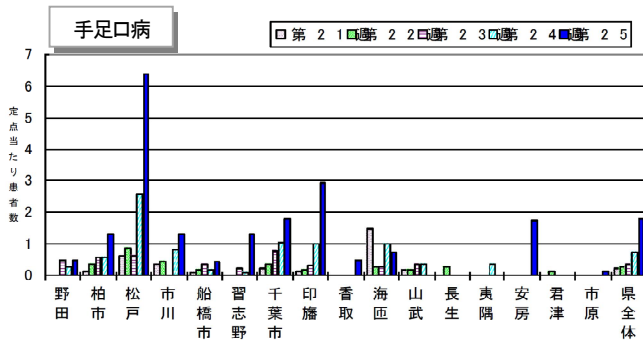
◇定点医療機関からの報告(~26週)

- ・24週以降、**手足口病の報告数が急増**しています(下記参照)
- ・26週には、ヘルパンギーナの報告数が増加(2.8)しています。
- ・**咽頭結膜熱(プール熱)**(リンク)の報告数は23週をピークに減少していますが、引き続き注意が必要です。

◆手足口病 一倍增

最新情報はこちら⇒ <https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/index.html>

第25週の定点当たり報告数は、1.8となり、第24週の0.76から倍増しました。過去10年(2003年以降)との比較では、もっとも多くなっています。患者数が増加する夏季を迎えるにあたり、注意が必要です。**松戸(6.4)は警報レベルを超えました。**第25週の年齢別では、1歳が最も多く、2歳以下で全体の62%を占めています。**第26週の報告数はさらに増加し、松戸(9.8)となっています。**



感染を予防するためには…

治った後も比較的長い時間、便などからウイルスが排泄されることがあります。また、感染しても発病せず、ウイルスを排泄している人がいる可能性もあります。

日頃からのしっかりと**手洗い**、**排泄物の適切な処理**(オムツ交換時にも十分な注意が必要)が重要です。

特に**手洗いは流水と石けんで十分に行ってください。タオルの共用は避けましょう。**

厚生労働省: [手足口病に関するQ&A](#) (⇒ホームページへ)

◆海外渡航される方へ…感染症予防も忘れずに…

夏休みには多くの方が海外に渡航されます。楽しい思い出づくりのため、感染症対策も忘れないようにしましょう。

○**出発の前に** 渡航先の情報、流行している感染症、医療機関情報について確認しましょう。予防接種が必要な場合があります。

○**旅行中に気をつけたいこと**

海外では、時差や気候の違いなどから、(自覚していなくても)様々なストレスを受けます。この結果、抵抗力が落ち、感染症にかかりやすくなる可能性がありますので、無理のないスケジュールを心がけましょう。

- ・生水・氷・カットフルーツを食べることは避けましょう。 ・食事は十分火の通ったものを食べましょう。
- ・蚊・ダニに刺されないように、虫除け剤を使うなどしましょう。 ・アルコール消毒薬等の使用も検討しましょう。
- ・動物は狂犬病や鳥インフルエンザなどの病気をもっていることがありますので、近寄らないようにしましょう。

○**帰国時・帰国後に具合が悪くなったら**

・帰国時に発熱や下痢などの症状がある方は、最寄りの検疫所にご相談ください。帰国後に症状が出た方は、かかりつけ医または検疫所にご相談ください。

●厚生労働省検疫所(FORTH)「夏休みに海外へ渡航される皆さまへ」 <http://www.forth.go.jp/news/2013/07040853.html>

◆マダニに注意

レジャーや野外活動が盛んになる季節です。野山、草むら、河川敷などには、病原体を持ったマダニ類がいる場合がありますので、そのような場所に立ち入る際には、咬まれないような対策をとりましょう。

- ・肌の露出が少ない服装(長袖・長ズボン・靴・帽子・手袋)
- ・明るい色の服(マダニを目で確認しやすい)や化学繊維素材のもの(マダニが付きにくい)を選ぶ
- ・服の上から用いるタイプの虫除け剤の活用(補助的な効果があるとされています)。
- ・屋外活動後は入浴し、マダニに刺されていないか確認する(特に、わきの下・足の付け根・手首・膝の裏・胸の下・頭部など)

●厚生労働省: **重症熱性血小板減少症候群(SFTS)に関するQ&A(第2版)**

http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/sfts_qa.html

「**皮膚の学校感染症とプールに関する統一見解**」(PDF) http://www.jocd.org/pdf/20130524_01.pdf

日本臨床皮膚科医会と日本小児皮膚科学会は合同で「皮膚の学校感染症とプールに関する統一見解」を発表しました。学校保健安全法で第三種(その他の感染症)に指定されている4つの皮膚疾患の小児がプールに入って良いかどうか判断する際の目安を示しています。

松戸保健所管内の感染症発生動向（最近5週）

● 管内 ▲ 県全体 警報基準値 終息基準値

マイコプラズマ肺炎とクラミジア肺炎は基幹定点のみの集計。RSウイルス感染症、マイコプラズマ肺炎とクラミジア肺炎は警報基準値等の設定なし。

